

# いわて復興だより

がんばろう！岩手 つながろう！岩手

## 三陸復興

第 87 号

平成 27 年 7 月 1 日号

### 復興に向けて歩み続ける岩手県の今を紹介します

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災津波。発災以来、全国そして海外からも多くの温かい励ましや御支援をいただいております。心から感謝申し上げます、この「つながり」を大切にしていきたいと思っております。

各地の梅雨入りがニュースで流れ、岩手県も蒸し暑い日が多くなり、夏の到来が待ち遠しい今日この頃。  
復興に向けて歩み続ける岩手の今を紹介します。

## 「岩手県復興応援派遣職員と同窓会」が開催されました

東京都

平成 27 年 6 月 9 日（火）、東日本大震災津波発災以降、本県の復興業務を支援した首都圏などの派遣職員 OB の同窓会が、東京都庁で行われました。

これは、本県東京事務所が、派遣任期が終了し帰任した派遣職員 OB の方々に感謝の気持ちを伝え、引き続き岩手県の応援団として絆を深めようと企画したものです。

同窓会には、東京都や神奈川県、埼玉県、千葉県等からの派遣職員 OB 40 人や東京都関係職員、本県職員等およそ 60 人が参加しました。

中村一郎岩手県復興局長は復興状況を映像で紹介し、「復興はまだ道半

ば。派遣職員の力は大きく、引き続き支援をいただきたい。」と継続的な支援を呼びかけました。

東京都総務局復興支援対策部の川合純部長は、「人材確保が難しい状況だが、東京のポテンシャルを集め応援していきたい。」と話し、前岩手県副知事で初代県復興局長の上野善晴日本政策金融公庫専務も駆けつけてくれました。

参加者らは、大槌町の地元日本酒をはじめとする岩手ブランドのお酒や陸前高田市のブランド米「たかたのゆめ」など多くの県産食材を使用した食事を楽しみながら、親睦を深めました。



岩手県復興応援派遣職員同窓会の様子



参加した派遣職員 OB の方々と関係者

## 「いわて復興インデックス報告書（第 14 回）」のデータから

沿岸被災 12 市町村を中心とした本県の復旧、復興の現状やその推移を把握するためのデータを定期的に取りまとめている「いわて復興インデックス報告書」。

今回は、第 14 回（平成 27 年 5 月 29 日公表）結果から、主なデータを紹介します。

### 暮らし

災害公営住宅の進捗率：26%  
完成戸数：1,525 戸  
（県整備 574 戸、市町村整備 951 戸）  
（平成 27 年 3 月末現在）

完成戸数：1,016 戸（県整備 330 戸、市町村整備 686 戸）・進捗率 17%（平成 26 年 12 月末）

災害公営住宅整備事業における完成戸数は 1,525 戸（県整備 574 戸、市町村整備 951 戸）となっており、建設予定戸数 5,921 戸（県整備 2,815 戸、市町村整備 3,106 戸）に対する進捗率は 26%（県整備 20%、市町村整備 31%）。

詳しくは

### なりわい （産業）

産地魚市場水揚量：81.6%（3 年平均比）  
138,381 トン  
（年度累計：平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月）

平成 26 年 4 月から平成 27 年 3 月までの産地魚市場水揚量（年度累計）は 138,381 トン。平成 20 年度から 22 年度までの 3 年間の同期間における産地魚市場水揚量の平均値の 81.6% となっており、前年同期比では 27.8% 増。これは、平成 25 年度に低調であったサンマの水揚量が回復したことが大きな要因と見られる。

### 安全

津波防災施設の整備率（沿岸）：36.3%  
25.2km 整備済総延長（累計）  
（平成 27 年 3 月末現在）

津波防災施設の整備率（沿岸）：27.4%・19.0km（平成 26 年 3 月末）

「新しい津波防災の考え方」に基づいた津波防災施設の整備済総延長は 25.2km であり、要整備区間総延長 69.4km に対する整備率は 36.3%。前年同月と比較すると、整備済総延長 6.2km、整備率 8.9% 増となっている。



## スマイル 130（いちさんまる）プロジェクト

スローガンは「130 万人誰もが笑顔に」、活動のコンセプトは「県民の笑顔のために」、「感謝の笑顔（県外、世界に）届ける」。復興に取り組む県職員の気持ちを盛り上げ、県民と一体感のある復興に向けた取組を展開するプロジェクトです。スマイル 130 プロジェクトの取り組みの様子は以下の県 HP をご覧ください！

<http://www.pref.iwate.jp/seisaku/smile/index.html>



## 「小本小学校 6年生が販売会」 地元の商品をPR

岩泉町

平成 27 年 6 月 11 日（木）、岩泉町立小本小学校（北田光志校長、全校生徒 54 人）と同校大牛内（おおうしな）分校（同、全校生徒 11 人）の 6 年生 19 人が、修学旅行先の盛岡市肴町商店街で町の特産品を販売しました。

これは、生徒たちが岩泉町・小本地区の復興を願い、町外へアピールしたいとの想いから行われた「復興教育」の一環で、今回で 3 回目となります。

販売された商品は、地元で製造されたヨーグルトや飲料品、わかめ、しいたけ等の特産品 31 品目。

生徒たちが、積極的に大きな声を出して商品や岩泉をアピールすると、道行く人が次々に足を止めて商品を買って求めていました。

小本小学校は東日本大震災津波で校舎が被災し、仮設校舎で授業を行っており、新校舎の建設費に役立ててもらおうと、収益を同町に寄付されました。

新校舎は、平成 28 年 3 月の完成を目指しています。



岩泉の物産を PR、販売する生徒たち  
(写真提供：小本小学校)

被災地・三陸の復興へ向け、多くの若者が情熱を注いでいます。連載「未来のさんりくびと」では、毎号、復興への熱い想いを秘めた若者を紹介していきます。

第 41 回目は、廣田 一樹さんを紹介します。

### PROFILE

千葉県松戸市出身

幼少より、夏休みには母の実家である山田町で過ごす。高校時代はラグビー部に所属し、大学卒業後、千葉県内の会社に就職。

震災を機に、平成 23 年 10 月に釜石市に移住。

現在は、宝来館のスタッフの他、ラグビーの誘致活動や、地元でワインを作るプロジェクトに携わっている。

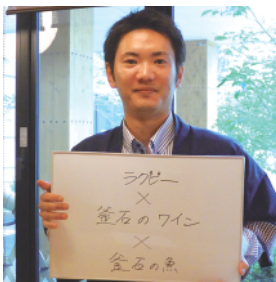
### 「ラグビーワールドカップ」開催に向けて

千葉県で働いていた廣田さんは、東日本大震災津波を機に、親戚が居る釜石市に移住。現在は、宿泊施設・宝来館（釜石市）のスタッフとして働いています。

同時に、平成 31 年に釜石市で行われる「ラグビーワールドカップ」開催時に、海外の方とコミュニケーションがとれるようにと、小中学

## 未来の さんりく びと

宝来館スタッフ  
(旅館業務とラグビー  
・ワイン・農業部門担当)  
廣田 一樹  
(ひろた かずき) さん



廣田さんからのひと言：  
ラグビー×釜石ワイン  
×釜石の魚

## 「ひょうたん島・弁天神社」の 修復工事が始まりました

大槌町

大槌町赤浜地区の蓬莱（ほうらい）島にある弁天神社が修復されることになり、平成 27 年 6 月 16 日（火）、工事の安全祈願祭が行われました。

蓬莱島は、故井上ひさしさん原作の人形劇「ひょっこりひょうたん島」のモデルとされ、町のシンボルとして親しまれていましたが、東日本大震災津波により大きな被害を受けました。

震災後、県などにより防波堤と灯台が再建され、また住民有志でつくる「ひょうたん島復興プロジェクト」が全国からの寄付金をもとに昨年 8 月、弁財天像を修復。日本財団からの支援も受けられることになり、弁天神社の修復工事が始まることとなりました。

島全体の再建費用は約 3,000 万円。

今後は、神社、岸と島をつなぐ参道の修復、鳥居の再建を行い、平成 27 年 12 月末には、工事が完了する予定です。



弁天神社がある蓬莱島

生へ英会話講座を開くなど、地域活動にも力を注いでいます。

「スタジアムの予定地はまだ土砂が置かれている状況ですが、開催に間に合うように、皆様のご理解を頂きながらやっていけたらなと思っています。」と廣田さん。

### 復興を祝う、釜石産のワインを

『被災地にブドウの木を植えて、ラグビーワールドカップが開催される時に、釜石市で作ったワインで復興の記念に乾杯しよう』と立ち上げられた「ワインで乾杯プロジェクト」に携わっている廣田さん。「復興も少しずつ進んでいると思います。この街を出て行く人もいますが、住み続けたいという人たちが、住み続けられる街になればいいと思います。」とこれからの釜石市への想いを話します。

ラグビーワールドカップの開催や、それに向けた地域の活動等が、復興と同時に「これからのまちづくり」への励みとなり、より一層の地域の活力になることに期待が寄せられます。

### 岩手県の被害状況

平成 27 年 5 月 31 日現在

- ▶人的被害 死者（直接死）：4,672 人 行方不明者：1,129 人
- ▶建物被害（住家のみ、全半壊） 26,163 棟

被害状況等の詳細

義援金・寄付金の募集等

いわて防災情報ポータル

検索

### 皆様のご支援、ありがとうございます

平成 27 年 5 月 31 日現在

- ▶義援金受付状況 約 183 億 8,684 万円 (91,483 件)
- ▶寄付金受付状況 約 196 億 7,911 万円 (7,337 件)
- ▶いわての学び希望基金受付状況（※） 約 75 億 5,394 万円 (15,622 件)

※ 被災した子どもたちが勉強やスポーツ等に励めるよう「くらし」「まなび」の支援に使われます。

ビジュアル豊富な【いわて復興だより Web】もご覧ください!!

<http://iwate-fukkoudayori.com>

いわて復興だより 第 87 号 平成 27 年 7 月 1 日号

企画・発行：岩手県復興局復興推進課 ☎019-629-6925

いわて復興だよりバックナンバーは

いわて復興だより

検索

編集・印刷：シナプス